

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	5月26日(金)	第53回通常総会	広 島 市	3号8ページ参照
	5月27日(土)	総合講演会	同	3号8 "
	5月27日(土) ～28日(日)	学術講演会	同	3号11 "
	5月27日(土)	懇 親 会	同	3号8 "
	5月29日(月) ～30日(火)	見 学 会	中四地区	3号9 "
	3月24日(金)	特性曲線法の水工設計面への応用に関するセミナー	東 京	3号3 "
関 東 支 部	4月28日(金)	支部総会(第4回通常総会)	土木学会	3号6 "
中 部 支 部	4月22日(土)	支部総会(昭和42年度)	静 岡 市	3号6 "
関 西 支 部	3月16日(木)	福井地区講演会	福 井 市	2号5 "
	3月23日(木) ～24日(金)	岩盤の調査・計測と設計・施工に関する講習会	大 阪 市	1号8 "
	3月27日(月) ～28日(火)	水理学・水文学における最近の進歩に関する講習会	同	2号6 "
そ の 他	3月27日(月)	水問題の教育と研究に関するシンポジウム	土木学会	2号3 "
	4月27日(木)	建築物の外装及び内装用金属材料の防食と保守手入に関するシンポジウム	東 京	3号4 "
お知らせ	■第5回接着研究発表会講演募集			2号3 "
	■土木学会総会並びに土木学会全国大会開催についての要項			3号2 "
	■昭和42年度論文集予約申込みについて			3号3 "
	■第9回地震工学研究発表会講演募集			3号3 "
	■第14回海岸工学講演会講演募集			3号4 "
	■第4回国際水質汚濁研究会議の論文概要の公募			3号5 "

第53回通常総会招集のお知らせ

第53回通常総会を下記によって招集いたします。

多数ご出席をお願いいたします。なお、ご欠席の場合は本誌添付“はがき”によって委任状をご送付下さるよう、お願いいたします。

記

日 時：昭和42年5月26日(金)14時より

場 所：広島銀行本店会議室(広島市紙屋町1-3-8)

会議に付議すべき事項：

- 1) 昭和41年度事業報告
- 2) 昭和41年度決算報告
- 3) 名誉会員の推挙

土木学会総会並びに土木学会全国大会開催についての要項(昭和43年より実施)

(昭和41年11月25日理事会決定)

本学会では年次学術講演会の講演数が急速に増加した現状から、総会ならびに年次学術講演会のあり方について、検討してきたところでありますが、昭和43年からつぎの要項で実施することになりましたのでお知らせいたします。

実 施 要 項

1. 総会は従来どおり5月末に開催する。
開催地を毎年東京とする。
2. 年次学術講演会は、ほかに他の講演会等を加えて「土木学会 昭和〇〇年度全国大会」と称し、開催時期は原則として9月または10月の大学の休みの時期とし、支部の事情によって決める。
開催地は全国各支部を持ち回ることとする。
3. 土木学会全国大会はつぎの講演会および行事を行なう。

講 演 会

- 1) 年次学術講演会は大体従来どおりとし、日数をおおよそ2日間とす。
- 2) 総合講演会は特別講演、部門講演およびPR講演とし、おおよそ1日間とす。
 - i) 特別講演は会長講演およびトピックス的な講演2~3題とす。
 - ii) 部門講演は4部門(年次学術講演の分類による)の各部門から1~2題、講演時間合計4時間程度とし、その内容はその部門の全体または1部でもよいが、最近の展望的なもの、興味ある工事報告、画期的なプロジェクト等とする。難解な内容はなるべくさげ、かつ毎年ダブらないようにする。
 - iii) PR講演は一般公衆の土木工学への理解を深めるため行ない、通俗講演と国土開発映画とする。時間は夜間とする。

行 事

- 1) 懇親会はなるべく簡素にし、開催日は年次学術講演会の第1日の夜間とす。
- 2) 見学会は大体従来どおりとする。

第53回通常総会および第22回学術年次学術講演会

昭和42年度通常総会および年次学術講演会は、別掲のとおり5月26日(金)~5月28日(日)にかけて広島市において開催されます。従来4月末に別途発送しておりましたプログラムは本号に綴込みましたのでご了承下さい。総会、懇親会、見学会、講演概要などの申込み方法、その他詳細は本号7~23ページをご覧ください。

○土木学会第22回年次学術講演会実施要領

- ① 研究発表には、各部門ともできる限り、一般報告の方式を採用し、やむを得ない場合に限り著者自らによる個人発表の方式を採用する。
- ② 一般報告の方式は、同じ種別の論文数編ずつを、学会で委嘱した一般報告者が総括して報告し、その後で質疑討論を行なう。この場合の応答には、各著者が自らこれに当り、場合により著者の補足説明を認められる。
- ③ 講演概要の記述にあたっては、一般報告者が、その概要にもとづいて報告することを予想し、必ずそれぞれの研究の考え方と結論をわかりやすく書くこと。
- ④ 個人発表の方式では、1人当りの講演時間を10分(交代時間を含む)として、討議はこの時間のわくの中で行なうものとする。

昭和 42 年度論文集予約申込みについて

◀ 申込締切 3 月 31 日 ▶

42 年度論文集 (42 年 4 月～43 年 3 月) の予約申込みを行ないますので、ご希望の方は年間購読料 1 000 円 (外地の場合は 6 ドル) を添えて、3 月 31 日までお申込み下さい。従来購読されておられる方もお忘れなくお申込み下さい。

特性曲線法の水工設計面への応用に関するセミナー

◀ 3 月 24 日 (金) ▶

オランダ デルフトの国際水工学および衛生工学コース講師 Dr. M. Abbott が来日されますので、水理委員会主催で下記により同氏を囲みセミナーを開催します。多数ご参加下さるようご案内します。

1. 日 時: 1967 年 3 月 24 日 (金) 15.00～17.30
2. 会 場: 私学会館 (国電市ヶ谷駅下車 徒歩 3 分 TEL (261) 9921)
3. Abbott 氏講演題目: The Role of the Theory of Characteristics in Hydraulic Design

水問題の教育と研究に関するシンポジウム

◀ 3 月 27 日 (月) ▶

1. 主催者: 日本学術会議水特別委員会および文部省科学研究費による「水問題の基礎的総合研究」の研究班
2. 日 時: 1967 年 3 月 27 日 (月) 9.30～16.00
3. 場 所: 土木学会土木図書館講堂 (東京都新宿区四谷 1 丁目)
4. 話題および話題提供者

挨拶	水特別委員会委員長	京都大学教授	石原 藤次郎
工学部門における水問題の教育と研究		京都大学教授	石原 安雄
理学部門における水問題の教育と研究		東海大学教授	速水 頌一郎
農学部門における水問題の教育と研究		東京教育大学教授	野口 正三
水問題の教育と研究に関するアンケート集計結果		東京大学助教授	高橋 裕
討 議			
アメリカにおける水問題の教育と研究の現状		京都大学教授	岩佐 義朗
IHD の水文学教育に関する活動状況		東京大学教授	井口 昌平
討 議			
総 括	水特別委員会委員長	京都大学教授	石原 藤次郎

第 9 回地震工学研究発表会講演募集

◀ 10 月 25 日 (水)～26 日 (木) ▶

下記により第 9 回地震工学研究発表会を開催いたしますので、講演ご希望の方は、ふるってご応募下さい。

1. 期 日: 1967 年 10 月 25 日 (水)～26 日 (木)
2. 会 場: 土木学会土木図書館講堂
3. 募集規定:
 - (1) 講演内容: 理論, 実験, 研究, 耐震設計の実測, 復旧工事, 震害等
 - (2) 申込方法: 7 月 15 日 (土) までに、題目, 講演者氏名 (連名の場合は登壇者に○印をつける), 勤務先を明記し、土木学会耐震工学委員会宛お申し込み下さい。
4. 講演概要原稿締切: 8 月 25 日 (金)

講演内容がわかるように講演概要はオフセット印刷とします。原稿はなるべく研究の考え方を主とし、原稿の長さは 1 題目刷上り 4 ページ以内 (図表, 写真を含み 6 480 字) とし、所定の原稿用紙にタイプまたはスミ書きにして下さい。講演の採否は、土木学会耐震工学委員会にご一任下さい。なお、講演時間は、15 分～20 分 (質問時間を含まず) の予定です。
5. パネル討論: 今回は特定のテーマを設けパネル討論を行ないます。

第14回海岸工学講演会講演募集

第14回海岸工学講演会は下記により開催することになりましたので、講演ご希望の方はつぎの要領によりご応募下さい。

1. 開催時期：1967年10月
2. 場 所：横浜市
3. 講演申込締切：1967年6月20日（火）
4. 講演原稿締切：1967年7月20日（木）
5. 講演申込および原稿提出について：
 - ① 講演申込みの際は、講演題目、著者名（連名の場合には登壇者に○印をつける）、予定ページ数を記入してハガキで下記申込先へお申込み下さい。
 - ② 同一内容の講演を一緒に2つ以上提出すること、および同一著者が重複して登壇するものは受付けません。
 - ③ 原稿一編の長さは原則として刷上り6ページ以内（400字詰原稿用紙30枚以内・図表・写真をふくむ）とします。
 - ④ 原稿の内容により6ページ以内に収録することが困難な場合は、著者の希望により10ページまでの超過を認めますが、この場合は著者に超過1ページにつき2000円負担していただくか、超過1ページあたり講演集2冊お買上げいただきます。
 - ⑤ 原稿には必ず超過希望の有無およびつぎの事項を記入して下さい（A：負担金、B：講演集購入）。
 - ⑥ 図面は必ずスミ入れ、説明文字は縮尺を考慮してできるだけレターリングでスミ入れを希望します。スミ入れが不可能の時は鉛筆書きにして下さい。
 - ⑦ 講演者には掲載論文の別刷50部を無料で差し上げます。それ以上ご希望の方は実費をいただきますから、あらかじめ希望部数を原稿にお書き入れ下さい。ただし講演集はご購入下さい。
 - ⑧ 著者校正ご希望の方はその旨明記して下さい。
 - ⑨ 今回より Coastal Engineering in Japan に掲載ご希望の方は英文題目、著者名、予定ページ数を明記の上お申出下さい。なお、同英文論文集に掲載する場合は掲載料（1ページ当り1000円）をいただきます。
 - ⑩ 講演および英文論文集への掲載の採否については海岸工学委員会にご一任下さい。
6. 申 込 先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会海岸工学委員会
 ◎開催期日、その他の詳細については決定次第追ってご案内いたします。

建築物の外装及び内装用金属材料の防食と保守手入に関するシンポジウム

標記シンポジウムをつぎのとおり開催いたしますので多数ご来聴下さいますようご案内いたします。

記

1. 主 催：日本金属腐食会議
 2. 日 時：1967年4月27日（木）13.00～17.00
 3. 会 場：金属材料技術研究所 管理庁舎3階講堂（東京都目黒区中目黒2-300 電 712-3181）
 4. プログラム：

(1) 挨拶	日本金属腐食会議会長 岡本 剛
(2) 講演（司会 山田水城）	
① 建築における金属の腐食とその対策	日本建築学会 山田水城
② 建築の施工における金属腐食の問題点	大林組 村上忠直
③ アルミニウム材料について	日本軽金属総合研究所 中山孝廉
④ 鋼材について	八幡製鉄（株） 渡辺正介
⑤ ステンレス鋼について	日本冶金工業（株） 佐藤主計
⑥ 銅について	古河電工（株） 森沢正人
⑦ 討 論	
- なお、講演はおのおの25分、討論は1時間の予定

第4回国際水質汚濁研究会議（国際水質汚濁研究協会主催） の論文概要の公募について

国際水質汚濁研究協会国内連絡委員会

1966年9月5～9日のミュンヘンにおける第3回の会議について、第4回が1968年8月19日（月）～21日（水）にプラーグ（チェコスロバキア）で開催されることになり、つぎのとおり論文概要を募集しておりますので、多数ご応募下さるようご案内いたします。

概要締切：1967年4月5日（水）

概要送付先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会衛生工学委員会（封筒に「国際水質汚濁会議用」と表記すること）。

その他：部会はつぎの三つにわけて同時に開催されます。

- (1) 淡水河川の自浄作用と汚濁の漁業におよぼす影響
- (2) 下水および産業排水の処理
- (3) 汚濁の海洋環境におよぼす影響

各部会ごとに最大数16編の本論文をとりあげます。これらの論文はあらかじめ公募により集められた英文1000語（81/2"×11"の用紙にタイプのこと）の論文概要（採択された後に変更しないように題目をつけ、著者名、所属機関、その宛名を記し、研究の目的、動機、方法、結論を簡単に述べる。また、論文の内容、程度は、独創的で斬新、高級でしかも、その地域の代表的なテーマをとり上げたものが望ましい）について、上記の国際会議に対する国内連絡委員会の委員が、その内容を慎重に検討した上、国際理事会の総意にもとづいて採択し、採択された分は本論文として再び提出を願い、これらを予稿として印刷します。これらは会議終了後改めて議事録に採録、公刊されます。なお論文を提出されるときは、上記の(1),(2),(3)いずれに該当するかを明記して下さい。応募についての注意事項はつぎのとおりであります。

論文概要の応募についての注意

国際水質汚濁研究協会理事 岩井重久

会議時の公用語は、英語、仏語、露語（同時通訳）であり、その他に独語を入れることも検討中であるが、表記の応募用の論文概要（アブストラクト）は英文、1000語以内とし、コピーとも全部で6部が昭和42年4月1日までに理事のどれかの手許に届くようにしかるべきところへ送付すること（注：日本国内の場合は4月5日までに上記送付先へ送付のこと）。

引用文献、図表類は文章の末尾に添付すること。写真を添付する場合は白黒写真にかざる。図は、黒インキを用い、印刷時の原寸より大きくして、うすい透写紙、または、透写布の上に画くこと。図中の文字等は、これを縮めても読みうるだけの大きさとし、印刷しやすいような活字体（レタリング・マシンの使用が望ましい）とする。また、図表および写真には、番号と題目とをつけること。

応募された概要（アブストラクト）の採択の基準は、つぎの4つの項目による。

(1) 研究の独創性：新たな創意を述べたり、従来からの創意によっても新たな適用法を打ち出したもの。ただし、在来の諸説を本質的に改良したり、在来の諸説を立証し、または発展させるに足る有意義な新データを提供することでもよい。

(2) 研究の性格：概要は十分に展開された研究内容を含み、一般の諸説や実験の手法を進歩させた跡があり、また使用したデータのうちのものは、収集された上で予備的に解析されたのちのものではなければならない。

(3) 水質汚濁の重要性：当該研究は、明瞭かつ著明に水質汚濁に関連したものでなければならない。純粹に基礎科学的な論文は非常に歓迎すべきではあるが、こうした論文の筆者は、その研究と水質汚濁との関連性について明記すべきである。

(4) 概要作成上の妥当性：応募概要の筆者は、慎重な注意をもって概要を作成されたい。すなわち、上記のような語数制限以内の長さの文章中に、その研究の目的、範囲、研究手法および成果の摘要を包含させなければならない。

（以上 1966.11.18 は日付けの同国際協会理事 Berger 秘書からの手紙による）

関東支部行事案内 (東京都新宿区四谷1丁目 土木学会総務課内・電話 東京 351-4133)

関東支部総会(第4回通常総会)

◀ 4月28日(金) 16.00~ ▶

1. 場 所 土木学会土木図書館講堂
2. 議 題 ① 昭和41年度事業報告および決算報告の承認
② 昭和42年度事業計画および予算の報告
③ 商議員改選の承認

◎この会告をもって総会開催通知といたします。支部会員多数ご出席下さい。

映画上映

支部総会閉会につづいて、つぎの映画を上映いたしますから、ご観賞下さい。

「よみがえる川」第2回国土開発映画コンクール最優秀作品

中部支部行事案内 (名古屋市中村区笹島町1の223
名古屋鉄道(株)土木部内 電話 名古屋 571-2111)

昭和42年度中部支部総会

◀ 4月22日(土) ▶

昭和43年度中部支部総会を下記の通り開催いたします。

本掲載をもって案内といたしますので会員の皆様多数ご出席下さい。

記

1. 日 時: 1967年4月22日(土) 10時20分
2. 場 所: 日興会館4階(ゴールデンホール) 静岡市紺屋町9(静岡駅前)
3. 総会次第: (1) 会務報告
(2) 来賓挨拶
(3) 新旧支部長挨拶
4. 特別講演:
静岡県の土木事情 静岡県土木部長 桑山三郎
東名高速道路について 日本道路公団東名高速道路 静岡建設局長 片平信貴
5. 見学会: 昼食後13時より見学会を行ないます。
見学場所: 由比海岸~田子ノ浦港~東名高速道路~日通富士見ウェイ~大熱海観光道路
6. 懇親会: 見学会終了後18時30分よりつぎのように懇親会を行ないます。
会 場: 熱海市新熱海ホテル
会 費: 宿泊費共 1人2000円
7. 申 込 先: 名古屋市中村区笹島町1の223 名古屋鉄道(株)土木部内 土木学会中部支部事務局 電 名古屋 571-2111
申込期日: 4月8日まで
懇親会にご出席の方は会費を添えてお申し込み願います。

「新潟地震震害調査報告」および「振動便覧」を購入された方へ

昨年土木学会より出版しました「新潟地震震害調査報告」および「振動便覧」に誤りがありましたので正誤表を作りましたからご希望の方は土木学会編集課へご連絡下さい。